

生活支援コーディネーターの活動状況に関する調査

※WEBアンケートで表示される際、体裁は異なります。

生活支援コーディネーター票（見本）

回答者情報		
1 生活支援コーディネーターとして活動している都道府県・市区町村名をお答えください。	市区町村	自由記述
2 あなたは第1層生活支援コーディネーターですか、第2層生活支援コーディネーターですか。	（第1層／第2層／第1層と第2層を兼ねる）	1つ回答
3 第2層生活支援コーディネーターの場合、担当している圏域数をお答えください。	圏域	数字回答
4 所属している組織をお答えください。	☒ 地域支援包括センター（直営） ☒ 地域支援包括センター（委託） ☒ 社会福祉協議会 ☒ 社会福祉法人（社会福祉協議会以外） ☒ NPO・ボランティア団体 ☒ 市町村職員 ☒ 地域住民等の個人 ☒ その他（ ）	当てはまるものすべて回答
5 保有資格している資格をお答えください。	☒ 社会福祉士 ☒ 介護支援専門員 ☒ 介護福祉士 ☒ 保健師 ☒ 看護師 ☒ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ☒ その他（ ） ☒ 特になし	当てはまるものすべて回答 排他選択肢
6 あなたは専任の生活支援コーディネーターですか、兼任の生活支援コーディネーターですか。	（専任／兼任）	1つ回答
7 兼任している場合、役割をお答えください。	☒ 就労的活動支援コーディネーター ☒ 認知症地域支援推進員 ☒ 地域福祉コーディネーター ☒ その他（ ）	当てはまるものすべて回答
8 生活支援コーディネーターとして現在担当する圏域に配置されてからの年数をお答えください。 ※例えば、配置されて数か月（1年未満）の場合は「1」年目とお答えください。	年目	数字回答
9 現在担当する圏域に配置される以前に、生活支援コーディネーターとして活動していた期間があれば、配置されていた年数をお答えください。 ※例えば、現在、第2層のA圏域への配置されていて それ以前に、第2層のB圏域に2年間、第1層市全域に1年間配置されていた場合 回答は、第1層「1」年間、第2層「2」年間、第1層と第2層を兼ねる「0」年間 となります。	第1層 年間 第2層 年間 第1層と第2層を兼ねる 年間	数字回答
10 勤務形態をお答えください。	（常勤／非常勤）	1つ回答
11 直近1週間（1月23日～1月27日）の活動時間をお答えください。	（1～8時間／9～16時間／17～24時間 25～32時間／33～40時間／40時間以上）	1つ回答
12 これまでに、国や都道府県等が実施する、新任の生活支援コーディネーター向けの研修や、資質向上に係る研修を受講したことがありますか。	（ある／ない）	1つ回答

生活支援コーディネーターとしての活動

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動範囲のうち、生活支援体制整備事業の対象となる範囲は、「地域支援実施要綱」に以下のように示されています。

- a 第1層市町村区域で、以下の①から⑤までを中心に行う機能
- b 第2層日常生活圏域（中学校区域等）で、第1層の機能の下、以下の①から⑥までを行う機能
- ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ
- ③関係者のネットワーク化
- ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）
- ⑥ニーズとサービスのマッチング

第1層生活支援コーディネーターの方は①～⑤に沿ってお聞きます。
第2層生活支援コーディネーターの方は①～⑥に沿ってお聞きます。

現在担当する圏域での活動状況について、お伺いします。

問1 ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 について

(1) ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起について、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。
※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

- 1 同じ層の生活支援コーディネーター
- 2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター
- 3 他市区町村の生活支援コーディネーター
- 4 市町村職員（地域支援事業担当）
- 5 市町村職員（地域支援事業担当以外）
- 6 介護支援専門員
- 7 地域包括支援センター
- 8 市町村社会福祉協議会
- 9 地区（校区）社会福祉協議会
- 10 民生委員・児童委員
- 11 地縁団体（自治会や町内会等）
- 12 NPO・ボランティア団体
- 13 老人クラブ
- 14 シルバー人材センター
- 15 家政婦紹介所
- 16 介護サービス事業所
- 17 医療機関
- 18 職能団体
- 19 商工会
- 20 企業・商店
- 21 協同組合
- 22 警察・消防
- 23 有識者（大学教授等）
- 24 高齢者個人
- 25 その他（ ）
- 26 特になし（現在取り組んでいない等）
- 当てはまるものすべて回答
- 排他選択肢

(2) ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起について、取り組んだこと（または現在取り組んでいること）は次のうちどれですか。

- 1 地域のニーズを整理した一覧表等を作成した
- 2 地域の介護予防や生活支援に資する資源を整理した表等を作成した
- 3 地域のニーズと既存の地域資源の対応関係を整理した
- 4 市町村・協議体等の関係者と、地域のニーズと既存の地域資源の対応関係について議論した
- 5 その他（ ）
- 6 特になし（現在の担当圏域では取り組んだことがない）
- 当てはまるものすべて回答
- 排他選択肢

問2 ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ について

(1) ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけについて、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。

※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

1 同じ層の生活支援コーディネーター	☒
2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター	☒
3 他市区町村の生活支援コーディネーター	☒
4 市町村職員（地域支援事業担当）	☒
5 市町村職員（地域支援事業担当以外）	☒
6 介護支援専門員	☒
7 地域包括支援センター	☒
8 市町村社会福祉協議会	☒
9 地区（校区）社会福祉協議会	☒
10 民生委員・児童委員	☒
11 地縁団体（自治会や町内会等）	☒
12 NPO・ボランティア団体	☒
13 老人クラブ	☒
14 シルバー人材センター	☒
15 家政婦紹介所	☒
16 介護サービス事業所	☒
17 医療機関	☒
18 職能団体	☒
19 商工会	☒
20 企業・商店	☒
21 協同組合	☒
22 警察・消防	☒
23 有識者（大学教授等）	☒
24 高齢者個人	☒
25 その他（ ）	☒
26 特になし（現在取り組んでいない等）	☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2) ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけについて、取り組んだこと（または現在取り組んでいること）は次のうちどれですか。

1 関係者のもとに直接訪問した	☒
2 関係者の主催する会議等に参加した	☒
3 関係者を協議体等が開催する会議等に招いた	☒
4 その他（ ）	☒
5 特になし（現在の担当圏域では取り組んだことがない）	☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

問3 ③関係者のネットワーク化 について

(1) ③関係者のネットワーク化について、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。

※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

1 同じ層の生活支援コーディネーター	☒
2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター	☒
3 他市区町村の生活支援コーディネーター	☒
4 市町村職員（地域支援事業担当）	☒
5 市町村職員（地域支援事業担当以外）	☒
6 介護支援専門員	☒
7 地域包括支援センター	☒
8 市町村社会福祉協議会	☒
9 地区（校区）社会福祉協議会	☒
10 民生委員・児童委員	☒
11 地縁団体（自治会や町内会等）	☒
12 NPO・ボランティア団体	☒
13 老人クラブ	☒
14 シルバー人材センター	☒
15 家政婦紹介所	☒
16 介護サービス事業所	☒
17 医療機関	☒
18 職能団体	☒
19 商工会	☒
20 企業・商店	☒
21 協同組合	☒
22 警察・消防	☒
23 有識者（大学教授等）	☒
24 高齢者個人	☒
25 その他（ ）	☒
26 特になし（現在取り組んでいない等）	☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2) ③関係者のネットワーク化について、取り組んだこと（または現在取り組んでいること）は次のうちどれですか。

1 関係者に対し、訪問・電話・メール等により、定期的に情報提供・意見交換を行った	☒
2 会議等、関係者が一同に介する場を設けた	☒
3 その他（ ）	☒
4 特になし（現在の担当圏域では取り組んだことがない）	☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

問4 ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一 について

(1) ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一について、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。

※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

- 1 同じ層の生活支援コーディネーター

2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター

3 他市区町村の生活支援コーディネーター

4 市町村職員（地域支援事業担当）

5 市町村職員（地域支援事業担当以外）

6 介護支援専門員

7 地域包括支援センター

8 市町村社会福祉協議会

9 地区（校区）社会福祉協議会

10 民生委員・児童委員

11 地縁団体（自治会や町内会等）

12 NPO・ボランティア団体

13 老人クラブ

14 シルバー人材センター

15 家政婦紹介所

16 介護サービス事業所

17 医療機関

18 職能団体

19 商工会

20 企業・商店

21 協同組合

22 警察・消防

23 有識者（大学教授等）

24 高齢者個人

25 その他（ ）

26 特になし（現在取り組んでいない等）
- ☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2)-1 生活支援コーディネーターとして現在取り組んでいることについてお聞きます。

④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一について、配置されている圏域（又は市町村）における「目指す地域の姿・方針」をお答えください。

(自由回答)

自由記述

(2)-2 ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一について、「目指す地域の姿・方針」を共有し、関係者間の意識を統一するために取り組んだことをお答えください。

(自由回答)

自由記述

問5 ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能） について

(1) ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）について、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。

※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

- 1 同じ層の生活支援コーディネーター

2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター

3 他市区町村の生活支援コーディネーター

4 市町村職員（地域支援事業担当）

5 市町村職員（地域支援事業担当以外）

6 介護支援専門員

7 地域包括支援センター

8 市町村社会福祉協議会

9 地区（校区）社会福祉協議会

10 民生委員・児童委員

11 地縁団体（自治会や町内会等）

12 NPO・ボランティア団体

13 老人クラブ

14 シルバー人材センター

15 家政婦紹介所

16 介護サービス事業所

17 医療機関

18 職能団体

19 商工会

20 企業・商店

21 協同組合

22 警察・消防

23 有識者（大学教授等）

24 高齢者個人

25 その他（ ）

26 特になし（現在取り組んでいない等）
- ☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2)-1 ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）について、現在取り組んでいることは次のうちどれですか。

- 1 住民に、生活支援等サービスに係るボランティア等の担い手を養成するための研修等の開催を周知した

2 生活支援等サービスに係るボランティア等の担い手を養成するための研修等を実施した

3 研修等により養成した担い手が、新たに生活支援等サービスを実施できるよう支援した

4 その他（ ）

5 特になし（現在の担当圏域では取り組んだことがない）
- ☒

☒

☒

☒

☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2)-2「研修等により養成した担い手が、新たに生活支援等サービスを実施できるよう支援した」場合、どのような支援を行ったか具体的な内容をお答えください。

(自由回答)

自由記述

問6 ⑥ニーズとサービスのマッチング について

(1) ⑥ニーズとサービスのマッチングについて、訪問したり、話し合ったりしている関係者は次のうちどれですか。

※通いの場への訪問、イベントへの参加、会議への参加等、訪問や話し合いの形式については問いません。

- 1 同じ層の生活支援コーディネーター

2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター

3 他市区町村の生活支援コーディネーター

4 市町村職員（地域支援事業担当）

5 市町村職員（地域支援事業担当以外）

6 介護支援専門員

7 地域包括支援センター

8 市町村社会福祉協議会

9 地区（校区）社会福祉協議会

10 民生委員・児童委員

11 地縁団体（自治会や町内会等）

12 NPO・ボランティア団体

13 老人クラブ

14 シルバー人材センター

15 家政婦紹介所

16 介護サービス事業所

17 医療機関

18 職能団体

19 商工会

20 企業・商店

21 協同組合

22 警察・消防

23 有識者（大学教授等）

24 高齢者個人

25 その他（ ）

26 特になし（現在取り組んでいない等）
- ☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

(2) ⑥ニーズとサービスのマッチングについて、取り組んだことや工夫したことをお答えください。

(自由回答)

自由記述

問7 現在最も力を入れて取り組んでいることは次のうちどれですか。

- 1 ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

2 ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ

3 ③関係者のネットワーク化

4 ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一

5 ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）

6 ⑥ニーズとサービスのマッチング

7 その他（ ）

8 決めていない、わからない
- ☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

☒

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

生活支援コーディネーターとしての活動の成果		
問8 現在担当する圏域での活動の成果についてお聞きします。		
次の関係者のうち、地域の高齢者の生活の困りごと等について気兼ねなく相談・共有できる、またはできるようになった人をお答えください。		
1 同じ層の生活支援コーディネーター	☒	当てはまるものすべて回答
2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター	☒	
3 他市区町村の生活支援コーディネーター	☒	
4 市町村職員（地域支援事業担当）	☒	
5 市町村職員（地域支援事業担当以外）	☒	
6 介護支援専門員	☒	
7 地域包括支援センター	☒	
8 市町村社会福祉協議会	☒	
9 地区（校区）社会福祉協議会	☒	
10 民生委員・児童委員	☒	
11 地縁団体（自治会や町内会等）	☒	
12 NPO・ボランティア団体	☒	
13 老人クラブ	☒	
14 シルバー人材センター	☒	
15 家政婦紹介所	☒	
16 介護サービス事業所	☒	
17 医療機関	☒	
18 職能団体	☒	
19 商工会	☒	
20 企業・商店	☒	
21 協同組合	☒	
22 警察・消防	☒	
23 有識者（大学教授等）	☒	
24 高齢者個人	☒	
25 その他（ ）	☒	
26 特になし（現在取り組んでいない等）	☒	
問9 現在担当する圏域での、地域に不足するサービスの創出（資源開発）についてお聞きします。		
(1) どのようなサービスの創出に携わりましたか。		
創出に携わったサービスの例を教えてください（例はいくつでもかまいません）。		
	(自由回答)	自由記述
(2) 上記のサービスは、どのような困りごと・ニーズに対応して創出されたものですか。		
	(自由回答)	自由記述
(3) サービスの担い手は、どのような人たちですか。（例：民間企業、住民主体の団体等）		
	(自由回答)	自由記述
(4) サービスの担い手が住民主体の団体である場合、同団体に所属して活動する人のうち、高齢者は何割程度いますか。		
およそ 割		数字回答
(5) これまでの活動で、サービスの創出にあたり活用した補助金等ありましたか。		
（ある／ない）		1つ回答
(6) 補助金を活用した場合、補助金等の名称と交付元をご記入ください。		
※できる限り正式な名称でご記入ください。		
1 補助金等の名称	(自由回答)	自由記述
2 補助金等の交付元（都道府県名、市区町村名、団体名等）	(自由回答)	自由記述
問10 現在担当する圏域での、サービスの担い手の養成（資源開発）についてお聞きします。		
(1) 問5の(2)～1において、「生活支援等サービスに係るボランティア等の担い手を養成するための研修等を実施した」とお答えの方にお聞きします。		
これまでに養成した担い手の人数は何人ですか。		
件（累計）		数字回答
(2) これまでに養成した担い手のうち、現在地域で活動している人の数を把握していますか。		
（把握している／把握していない）		1つ回答
(3) 把握している場合、その人数をお答えください。		
件（累計）		数字回答
問11 現在担当する圏域での、ニーズとサービスのマッチングについてお聞きします。		
(1) どのようなニーズとどのようなサービス提供主体をマッチングしましたか。		
ニーズとサービス提供主体をマッチングした例を教えてください（例はいくつでもかまいません）。		
(自由回答)		自由記述
(2) これまでニーズとサービスをマッチングした件数を把握していますか。		
（把握している／把握していない）		1つ回答
(3) 把握している場合、その件数をお答えください。		
件（累計）		数字回答

生活支援コーディネーターとしての活動の課題や今後の取組方針

問12 生活支援コーディネーターとして活動するうえでの悩みや困っていることは何ですか。

- 1 活動の目的がわからない
- 2 何から取り組みればよいかわからない
- 3 何が活動の成果と言えるのかわからない
- 4 活動がどう評価されているかわからない
- 5 活動の評価が数字での評価（量的側面）に偏っている
- 6 地域のニーズを満たす活動を行っても、市町村内で広く同様の取組が行われるよう、市町村等が支援してくれることがない
- 7 取り組みたいことに、所属する組織や法人の理解が得られない
- 8 活動を指導してくれる人や困ったときに助けてくれる人がいない
- 9 他の地域の事例を学ぶための機会や資料がない
- 10 地域のニーズを把握する方法がわからない
- 11 地域の資源を把握する方法がわからない
- 12 把握した地域のニーズに対応する資源を探す方法がわからない
- 13 関係者との連携が難しい
- 14 生活支援の担い手を探したり、養成することが難しい
- 15 介護予防や生活支援に資する地域活動を創出することが難しい
- 16 把握した地域のニーズを満たすために、資源をどのように活用すればよいかわからない
- 17 その他（ ）
- 18 特になし

当てはまるものすべて回答

排他選択肢

問13 「関係者との連携が難しい」とお答えの場合にお聞きします。

次のうち、どの関係者との連携が難しいと感じていますか。

- 1 同じ層の生活支援コーディネーター
- 2 第1層・第2層など担当する層の異なる生活支援コーディネーター
- 3 他市区町村の生活支援コーディネーター
- 4 市町村職員（地域支援事業担当）
- 5 市町村職員（地域支援事業担当以外）
- 6 介護支援専門員
- 7 地域包括支援センター
- 8 市町村社会福祉協議会
- 9 地区（校区）社会福祉協議会
- 10 民生委員・児童委員
- 11 地縁団体（自治会や町内会等）
- 12 NPO・ボランティア団体
- 13 老人クラブ
- 14 シルバー人材センター
- 15 家政婦紹介所
- 16 介護サービス事業所
- 17 医療機関
- 18 職能団体
- 19 商工会
- 20 企業・商店
- 21 協同組合
- 22 警察・消防
- 23 有識者（大学教授等）
- 24 高齢者個人
- 25 その他（ ）

当てはまるものすべて回答

問14 生活支援コーディネーターとしてこれから力を入れて取り組みたいことは次のうちどれですか。

- 1 ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- 2 ②地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ
- 3 ③関係者のネットワーク化
- 4 ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- 5 ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）
- 6 ⑥ニーズとサービスのマッチング
- 7 その他（ ）
- 8 決めていない、わからない

当てはまるものすべて回答

排他選擇肢

以上で調査は終了です。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。